

学業成績優秀者（卒業・修了）表彰式でのお祝いの言葉

卒業時・修了時の学業成績優秀者として表彰された皆さん、心よりお祝いいたします。学業成績優秀者の表彰には、学年表彰と卒業修了表彰があります。学部の学年表彰では、在学生のうち前年度のGPA等の成績評価において最も優れた学生が、創立記念日に表彰されます。学部の卒業時表彰では、在学期間中における学業成績が最も優れた学生が、卒業式の日には表彰されます。大学院の修了時表彰では、学位論文の内容が重視されます。

卒業、修了される皆さんには、「置き手紙」を書いてもらっています。その手紙の中に、学業成績優秀者の表彰については、表彰される人の人数が少ないので自分には関係ないと思っている人がたくさんいましたが、表彰は励みになるので良い制度であるとの意見も多くありました。皆さんの評価は、何十人ものクラスの中でトップでした。これまで積み重ねた努力・工夫に、大いに自信をもってください。そして、これからもこの調子で頑張ってください。

学生の皆さんの力を測る物差しには、様々なものがあります。入学時に入学試験で測る高校までの学力、在学中にGPA等で測る大学での学力、卒業論文や修士論文の内容や取組みで測る学力があります。入学試験による評価、在学中の成績による評価、論文による評価の間には、実はほとんど相関関係がないことが知られています。誰であっても興味を持つことができれば、頑張ることができ、よい結果を残せることはよく知られています。

大学のカリキュラム等では、学生の皆さんに、基本的なことがらを伝えると同時に、様々なことがらに興味を持ってもらうよう工夫しています。教室の授業の中での工夫に加え、実験や実習があり、企業等へのインターンシップや海外の大学への短期留学、クラブ活動やサークル活動等、いろいろあります。こうした様々なことがらに積極的に参加し、失敗を恐れず、興味のあることに挑戦し熱中する楽しさを経験してほしいと考えています。

これからの長い人生では、途中の様々な段階で、いろいろな形の評価を受けます。今回のように高く評価された場合には、素直に喜びましょう。しかし、評価されなくても、いろいろな物差しがあると考え、場合によっては自分で物差しを作るくらいの気持ちで、マイペースで目標にむかって努力しましょう。大きな可能性を秘めた皆さんが、世界と未来で活躍されることを願って、お祝いの言葉とします。

平成26年3月25日
岐阜大学工学部長
六郷 恵哲